

整理番号	HT28322	分野	医歯薬学	(キーワード)医学研究
------	---------	----	------	-------------

久留米大学

プログラム名：心臓病研究の最前線、自分の心臓を見てみよう！

先生(代表者)	青木浩樹(あおきひろき)循環器病研究所・教授			
自己紹介	<p>私たちは、心臓や血管の病気が起こる仕組みを研究し、より良い診断や治療を見つけるための研究に取り組んでいます。そして研究を進めると、病気の仕組みが分かるだけでなく、心臓そのものの巧妙な仕組みが分かります。</p> <p>そんな生きた心臓を見たいと思いませんか？このプログラムで、みなさんに命の不思議を感じてもらえればうれしく思います。</p>			
開催日時・主な募集対象	平成 28 年 7 月 31 日(日)	(対象)	高校生	(人数) 20 名
集合場所・時間	久留米大学筑水会館	(集合時間)	午前 9 時	
開催会場	<p>久留米大学循環器病研究所および大学病院</p> <p>住所: 〒830-0011 久留米市旭町67番地</p> <p>アクセスマップ: http://www.kurume-u.ac.jp/soshiki/3/access.html</p>			
内 容				
<p>プログラムの最初に研究の重要性、科学研究費の仕組みと意義を解説します。高校までに学習する心臓の仕組みを復習した上で、心臓病研究では超音波と顕微鏡を使って「目に見えないものを見る」ことを、解説を交えながら実習することで体感して頂きます。</p> <p>理解を深めるために、心臓の粘土模型を作成して立体的な構造を理解します。次に、超音波診断装置で不透明な物の内部を観察します。そして、久留米大学病院で超音波診断装置を使い、参加者自身の心臓が立体的にどんな形をしているかを、粘土模型と比べながら観察します。そして、その心臓がどのように動き血液を送り出しているかを観察します。</p> <p>肉眼では見えない微細な構造を観察する方法として、マウスの心臓組織染色を行い顕微鏡で観察します。正常の心臓と梗塞を起こした心臓を染色し比較観察することで、病気の成り立ちを解析する方法を理解してもらう。自分の心臓とマウスの心臓の仕組みが全く同じであることを体感します。</p> <p>実験や診療で用いる機器を自らの手で操作することにより、医学・医療への興味を引きだします。また、現役医師・研究者・医学部学生と一緒に実験・実習することで、知的好奇心を刺激し、キャリア意識を高めて頂くことを期待しています。</p>				



スケジュール	持ち物
9:00 - 9:30 受付(久留米大学筑水会館)	筆記用具
9:30 - 10:00 開講式	
10:00 - 10:30 講義と観察実習「人間の心臓」	特記事項
10:30 - 11:00 講義と観察実習「マウスの心臓」→移動	
11:15 - 13:00 体験実習「マウス心臓組織の染色と観察」	
13:00 - 14:00 昼食(現役医師・研究者・医学生との交流)→移動	
14:15 - 15:30 体験実習「人間(受講者)の心臓エコー検査」→移動	
15:45 - 16:30 クッキータイムとディスカッション	
16:30 - 16:45 アンケート記入、修了式、「未来博士号」授与式	
16:45 解散	

《お問合せ・お申込先》

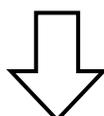
所属・氏名：	久留米大学循環器病研究所・青木浩樹
住所：	〒830-0011 久留米市旭町67番地
TEL 番号：	0942-31-7580
FAX 番号：	0942-31-7707
E-mail：	haoki@med.kurume-u.ac.jp
申込締切日：	平成28年7月1日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、○月○日()までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
青木浩樹	H. 26 - H. 27	挑戦的萌芽研究	26670621	大動脈解離病態解明への挑戦：ストレス防御の分子機構とその破綻
青木浩樹	H. 24 - H. 26	基盤研究 (B)	24390334	大動脈解離の分子メカニズム：細胞間相互作用による大動脈壁強度制御機構の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。